自治会活動に対する町の考え方は

地域課題の解決に取り組む重要なパートナー

問　自治会不要論もあるが、町として自治会活動に対する考え方は。

答　自治会が担っている役割は、防災や避難支援、高齢者の見守り、環境美化、地域情報の共有、防犯灯の維持管理、住民同士の交流など、地域で暮らしていく上で必要となる継続的で幅広い活動を担っている。

　このため、自治会は地域に最も身近な住民自治の組織であり、町としては、町と協働して地域課題の解決に取り組む重要なパートナーと考える。



池内 邦仁
議員



自治会業務のデジタル化は

「チームワークシティまさきプロジェクト」も手段の一つ

問　自治会業務の負担軽減のための町の協力は可能か。

答　町では、地域の団体や住民の皆様にもデジタル活用を広げていく「チームワークシティまさきプロジェクト」を進めている。自治会の担い手不足や役員負担の軽減についても当プロジェクトは手段の一つであると考える。

時代に合った自主防災活動、敬老事業、コミュニティ施設整備などへの助成検討を。

いりこ加工工場の移転は

残り1事業者

問　いりこ加工工場の移転経過は。

答　北黒田海岸では、平成3年9月の台風19号により海岸堤防が決壊した。

　この堤防整備を進めるため、北黒田海岸で操業していた、いりこ加工工場の移転が必要となったことから、県と町が連携し、町が移転用地を整備するなど支援を行いながら、事業者との協議を進めてきた。

　令和8年8月末現在、対象となった7事業者のうち2事業者は、町が整備した移転用地に工場を移転し、4事業者は廃業した。残り1事業者は具体的な進展はなく、引き続き、県と連携し、海岸整備事業への理解と協力を求めていく。



西村 元一
議員



雨水貯留施設工事に伴う近隣への影響は

モニタリングを行い工事を進める

問　義農公園の雨水貯留施設工事に伴う近隣への影響は。

答　本工事では、掘削時に周辺地盤の安定を確保するため、鋼矢板を設置している。鋼矢板に隣接する個所で最大3㎝程度の地盤沈下はあるものの公園内の一部に限られており、隣接する義農神社、電柱などについても事前調査とモニタリングを行い工事を進める。

近隣への影響が出ないよう工事を。